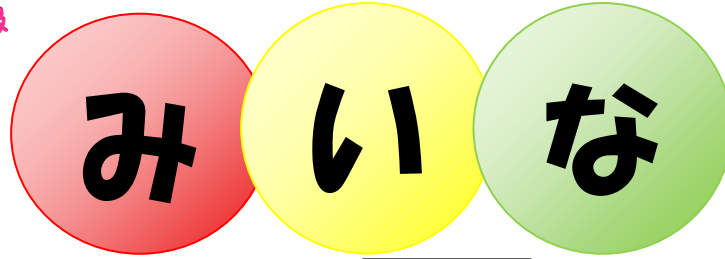


誰もが輝く
まちづくりを
めざして



みんなで

いっしょに

なかよく



▶問い合わせ 市民協働推進課 ☎0287(62)7019

バックナンバーはこちら

今回のテーマは『休暇制度について』です

皆さんは『休暇制度』と聞くとどんな制度が思い浮かびますか？

『有給休暇』、『育児休暇』、『年末年始休暇』など…こういった休暇制度は多くの民間企業で導入されている制度です。しかし、ここ最近では聞き馴染みのないユニークな休暇制度が導入されている企業が増加しています。そこで今回はユニークな休暇制度をご紹介します。

…LOVE 休暇…

(株式会社ツナグ・ソリューションズ)

年に一度、家族、恋人、友人など、大切な人の誕生日に、休暇が取れる制度です。最大1万円までのプレゼント代が支給されます。



…ペットの忌引き休暇…

(株式会社ユニチャーム)

自宅で飼育していたペットが死亡した際、特別休暇1日取得できる制度です。ペットを家族とみなした忌引き休暇です。



『イクボス』って……………なに？

イクボスの意味をご存知でしょうか？

イクボスとは職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス(仕事と生活の両立)を考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことです。皆さんの周りの上司はいかがでしょう。もし皆さんの周りの上司がイクボスなら『イクボス宣言』を勧めてみてはどうでしょうか。



『イクボス宣言』とは

従業員がワーク・ライフ・バランスを保ちながら安心して子育てに取り組めるような環境をつくと、自治体や企業が公に宣言することをいいます。多くの自治体や企業では上司が『イクボス宣言』をしてイクボスの輪を広げています。



男女共同参画情報「みいな」は市内の金融機関や農協、郵便局、病院、従業員100人以上の事業所などの一部に設置していただいています。ぜひご覧ください♪

那須塩原市にもパートナーシップ宣誓制度あります！

なすしおばら パートナーシップ 宣誓制度

令和4(2022)年
10月1日
開始

那須塩原市は、性的指向及び性自認にかかわらず一人ひとりの人権が尊重され、多様な生き方や価値観を認め合い、だれもが自分らしく生きることができる社会の実現を目指しています。この制度は一方又は双方が性的マイノリティである2者の間の関係であって、お互いに人生のパートナーとして、日常生活において相互に協力し合うことを約束した人に対して、パートナーシップ宣誓したことを市が証明し宣誓者受領証の交付を行う制度です。

事業者の皆様へ

市では、宣誓した2人が利用できる民間サービスの調査を行っています。

また、新たな民間サービスとして取り入れが可能なサービスを、協力依頼しています。

宣誓ができる方

1. 2人とも18歳に達している。
2. 那須塩原市民、または那須塩原市に転入予定。
3. 配偶者がいない。
4. 宣誓者以外の方とパートナーシップの関係がない。
5. 宣誓者同士が既婚者でない。

問い合わせ先

那須塩原市 企画部 市民協働推進課
ダイバーシティ推進係
電話：0287-62-7019
Mail：kyoudousushin@ty.nasushiobara.lg.jp

那須塩原市にもパートナーシップ宣誓制度あるんです！

パートナーシップ宣誓制度とは性的マイノリティ(性的少数者)である同性の2人が、本人の意思に基づき、お互いを人生のパートナーとして、日常生活で、経済的、物理的、精神的に協力しあうことを約束した関係であることを市長に対し宣誓し、那須塩原市がその事実を公的に証する制度です。

詳細はこちら⇒⇒⇒



【サービス事例】

病院での面会



携帯電話会社の
家族割



公営住宅の
入居申し込み



など…

パートナーシップ宣誓制度の

詳細はこちら⇒⇒⇒

(栃木県 HP)



那須塩原市では今後もサービスの拡大を目指し、市民の皆様が性的指向や性自認にかかわらず、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に挑戦します。

毎年6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。

周囲から「男だから」「女だから」といった性別役割意識の「思い込み」「決めつけ」「押しつけ」を感じたことはありませんか？

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには政府や地方公共団体だけでなく、国民のみなさん一人ひとりの取組が必要です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか？

令和5年度のキャッチフレーズ

無くそう思い込み、守ろう個性

みんなでつくる、みんなの未来

このキャッチフレーズは、ユース世代(15~20歳)が応募した4,326作品の中から選ばれた最優秀作品です。「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」「家事育児は女性がするべきだ」といった性別役割意識にとらわれず、個性と多様性を尊重し、自身の可能性を信じて、だれもが生きがいを感じられる社会を実現していくためのキャッチフレーズです。

無くそう思い込み、
守ろう個性

みんなでつくる、
みんなの未来。

Let us eradicate stereotypes and embrace diversity.
Our future is ours to create.

令和5年度
男女共同参画週間
6/23(金)~29(木)

TOCHIGI-NIKKO